

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		SNS等による情報分析・活用					所管	文化産業観光部 観光課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	32	計画事業名	SNS等による情報分析・活用			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進 [施策] ①観光に関する情報の収集と分析					[事業開始] 平成 27 年度 [終了予定] - 年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし				
	事業対象	観光に関する区民や事業者・団体等						
	事業目的	インターネット上に蓄積するビッグデータを基に、アンケート等では対応困難な膨大な情報を抽出・解析し、得られた情報を新たな観光施策に活用する。						
	事業内容	SNS等に蓄積された投稿情報を抽出し、解析を行う。						
	委託の有無	一部委託	委託内容		回遊促進プロモーション実施委託			
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	情報抽出回数	回	60	-	-	1	
	成果指標	情報活用回数	回	30	-	-	11	
	決算額	(単位：千円)			-	-	1,080	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			-	-	1,203	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			-	-	1,080	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			-	-	0	
		総経費			-	-	2,283	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			-	-	0	
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			-	-	0	
一般財源（区負担額）			-	-	2,283			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	ソーシャルメディアを活用して、アンケート等従前の調査の補完・新しい発見・気づきの獲得が可能になる。					
	効率性	3	アンケート等では膨大なマンパワーを必要とするが、ビッグデータを活用することにより、データの収集・分析が効率的に行える。					
	手段の適切性	3	ツールの性質から全庁的に利用することが可能である。					
	目的達成度	3	SNSによる情報拡散を交えつつ、回遊促進プロモーションの結果収集・活用を図った。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
台東区を訪問する観光客は年々増加しているが、ビッグデータから得られたニーズやトレンドを把握・分析した結果をどのように活かすのか、新たな観光施策の活用に向けて研究していく。					維持			